

2018年度 事業報告書(案)

自 2018 年 4 月 1 日

至 2019 年 3 月 31 日

2018 年度 5 つのトピックス

1. 第 49 回博報賞教育活性化部門を受賞しました。
博報賞とは、公益財団法人博報児童教育振興会が主催する賞です。
2. 今後の組織のあり方や方向性、重点事業などを検討するため、1 年間かけて 2019 年度～2021 年度の中期方針策定を行いました。
3. 教材『スマホから考える世界・わたし・SDGs』が消費者教育教材資料表彰で優秀賞として表彰されました。
4. d-lab2018（第 36 回全研）は聖心女子大学グローバルプラザで開催！
シンポジウムは「世界をケアするために～グローバリゼーションの隘路を超えて～」をテーマに行い、計 307 名が参加しました。
5. 新教材『開発教育基本アクティビティ集 2 - 難民』を発行しました。また、他団体に協力し『知らないからこそ話し合おう！裁判員裁判・死刑制度』（監獄人権センター、CrimeInfo 発行）、『先生・ファシリテーターのための持続可能な開発目標 SDGs アクティビティ集』（セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）を発行しました。



認定NPO法人 開発教育協会 (DEAR)

もくじ

事業の概要

- | | |
|------------------------|---|
| 1. はじめに～2018 年度をふりかえって | 2 |
| 2. 各種事業報告 | |
| Ⅰ. ネットワーク事業 | 2 |
| Ⅱ. 実践・研究事業 | 3 |
| Ⅲ. 情報・出版事業 | 4 |
| Ⅳ. 研修・講座事業 | 5 |
| Ⅴ. 政策提言事業 | 6 |
| Ⅵ. その他の事業 | 6 |
| 3. 組織運営に関する報告 | |
| 1. 会報「DEAR ニュース」の編集・発行 | 8 |
| 2. サポーターの募集 | 9 |
| 3. 中期計画策定 | 9 |
| 4. マーケティング基礎調査 | 9 |
| 5. 表彰 | 9 |



新教材『難民』を発行しました

処務の概要

- | | |
|----------------------------|----|
| 1. 会員に関する事項 | 10 |
| 2. 役員に関する事項 | 10 |
| 3. 会員総会に関する事項 | 11 |
| 4. 理事会に関する事項 | 11 |
| 5. 評議員会に関する事項 | 11 |
| 6. 2018 年度事業評価・2019 年度計画会議 | 11 |
| 7. 各種委員会に関する事項 | 11 |
| 8. プロジェクト・チームに関する事項 | 12 |
| 9. 職員に関する事項 | 12 |
| 10. インターン・ボランティアに関する事項 | 12 |
| 11. 会員団体に関する事項 | 12 |



全研は d-lab（ディー・ラボ）として開催

資料編

- | | |
|-----------------------|----|
| 資料 1. 出版・編集・取材協力など | 13 |
| 資料 2. 名義後援・協力の実績一覧 | 14 |
| 資料 3. 他団体への賛同・協賛の実績一覧 | 14 |
| 資料 4. 講師派遣の実績一覧 | 15 |



博報賞を受賞しました

1. はじめに ～ 2018年度をふりかえって

社会の大きな動きの中で

世界の貧困、紛争や戦争、気候変動、人権侵害など持続不可能な社会の状況は深刻化し、もっとも脆弱な人々の命を脅かしています。世界では多くの人々が、災害、戦争、差別などで住む場所を追われ、移動した場所でも困難に直面しています。

国内外で民主主義や市民活動をすすめるスペースが狭められており、「2030 アジェンダ」がめざす連帯や公正ではなく、差別や分断が進んでいます。

一方で世界では、気候正義(Climate Justice)のために高校生が立ち上がった、性被害を止めるための動きが広がっています。少数者や弱者自らが立ち上がり、声を上げるには、それを支える社会が変わる必要があります。

持続可能な開発目標(SDGs)が目指す「誰一人取り残さない」状況をつくるためには、取り残されている人々が誰なのかを認識し、その背景や構造を明らかにしていくこと、さらに、自分自身はどこにいるのか、どのような視点で社会を見るのか、関わるのか、を意識していくことが重要です。

開発教育が重視する価値である人権の尊重、社会的公正、共生の視点は、これから持続可能な社会を作る学びを進める上で益々重要になっています。

新中期計画の策定

2018年度は2019～2021年度の次期中期計画を策定する1年間としました。DEARの中長期的な課題を協議し、将来像について議論しました。同時に、活動の基盤ともなる組織基盤強化についても協議し、5つの重点方針を策定しました。

また、持続可能な開発目標(SDGs)に対する基本方針を策定し、今後の指針としていくことにしました。

参加を重視した事業運営

また、年度当初に計画した6つの領域「Ⅰ. ネットワーク事業」「Ⅱ. 実践・研究事業」「Ⅲ. 情報・出版事業」「Ⅳ. 研修・講座事業」「Ⅴ. 政策提言事業」「Ⅵ.

その他の事業」においては、概ね事業計画通りに各種事業を実施することができました。

参加を重視するという点では、ウェブにもアップしている『「みんなの参加」のための DEAR の取組』にもあるように、あらゆる人々が安心して参加するための学びの場づくりをすすめています。

具体的には講座やセミナーにおいて難聴者のための要約筆記や視覚障害の方のためのガイドヘルプ、小さなお子さんをお連れの方に、託児を導入しています。また、視覚障害を持つ会員には、会報や機関誌のテキストを毎回データで送付しています。このような取組を広く伝え、他団体へも伝えていきたいと思えます。

尚、各事業にかかわったメンバーについては、p.11～12をご覧ください。

2. 各種事業報告

Ⅰ. ネットワーク事業

ネットワーク事業は、国内外の開発教育及びESD関係者と実践経験を共有し、開発教育の普及、深化をはかることを目的としている。今年度は、「学びあいフォーラム」や「SDGs×人権×教育フォーラム」などを実施し、担い手との連携・強化を図った。

1)「担い手」連携強化事業

地域の開発教育の担い手とのネットワーク維持・強化につとめた。

具体的には、2016年度、2017年度に実施した「学びあいフォーラム」の実践を踏まえ、地域における問題解決、地域づくりの中で学びあいをコーディネートするための「ハンドブック」(案)を作成し、関係者よりコメントをもらった。

また、実践フォーラムとして、d-labの分科会を担当し、全国の参加者と地域づくりにおける学びあいについて協議した。

①コーディネーター会議の開催(全6回)

次年度以降に行う学びあいフォーラム研修に係り、使用ハンドブック、研修内容、参加対象の検討等を行った。

②ハンドブックおよび研修プログラム開発のためのタスク会議の開催(全 13 回)

『学びあい』をコーディネートする 持続可能な地域づくりのために」(意見収集版)の内容の検討、原稿作成を行い、インタビューやアンケートを通じて関係者より意見を収集した。

2)海外ネットワーク事業

①ASPBAEの団体会員との交流

DEAR が団体会員になっているアジア南太平洋基礎・成人教育協会(ASPBAE/アスベ)の理事会に合わせて、ASPBAE の会員交流会を開催し、情報共有と経験共有を行った。

<ASPBAE 会員交流会>

日時:2019 年 2 月 27 日(水)15:00~18:00

場所:聖心女子大学 4 号館 4-2 教室

内容:

1. 日本の社会教育の状況
2. SDG4 に関する取り組み
3. SDG4 に関する政策提言の状況

参加者:約 30 名

ASPBAE 主催の BLDC(ベーシックリーダーシップ開発コース)に評議員の鈴木洋一が参加した。

<BLDC>

日時:2018 年 11 月 25 日~30 日

場所:ニュージーランド オークランド

参加者:アジア太平洋地域の NGO 約50名

②「海外スタディプログラム」の参加

外務省「海外スタディプログラム」に伊藤職員が参加し、ロンドンにある Development Education Research Centre(DERC)を拠点に、英国を中心とする開発教育ネットワークや開発教育実践の現状把握のため、各地の開発教育センターを訪問し、インタビューをおこなった。

日時:2018年9月10日~10月25

場所:DERC

また、海外研修、BLDCの成果を共有するために、以下の海外研修報告会を開催した。

<海外研修報告会>

日時:2019年2月12日(金)19:00~21:00

場所:聖心グローバルプラザ ビーハイブ

報告者:伊藤容子(DEAR)、鈴木洋一(Wake Up Japan)

参加者:20名

II. 実践・研究事業

開発教育の研究実践活動の質的な深化や向上に向けて、関連する教育的課題や今日的課題などに関する調査研究活動を行った。機関誌は「安全・安心に暮らすということー難民・避難民・先住民族の視点から」をテーマに特集を組んだ。

1)「開発教育研究会」

開発教育の研究実践活動の質的な進化や向上に向けて、関連する教育的課題や今日的課題などに関する調査研究活動を行う。

今年度は、特に研究会を設置せず、次年度以降の計画を立てる中で、DEAR の実践研究の目的や内容、進め方について検討した。

2)機関誌『開発教育』の編集発行

機関誌『開発教育』第 65 号を発行した。特集は「安全・安心に暮らすということー難民・避難民・先住民族の視点から」とした。多くの人々が安全・安心に生きる権利を奪われている状況や、その社会的構造・原因について考察し、教育の役割についても理論編や実践編、インタビューなどをで報告してもらった。

<概要>

タイトル:機関誌『開発教育』第 65 号

特集:「安全・安心に暮らすということー難民・避難民・先住民族の視点からー」

発行:2018 年 12 月 1 日

発行部数:900 部

価格:2,000 円(+税)

また、以下の日程で「機関誌を読む会」を開催した。

<概要>

タイトル:機関誌を読む会

日時:2019 年 3 月 15 日(金)19:00~21:00

会場:聖心女子大学グローバルプラザ

参加者:5 名

3)d-lab2018(第 36 回開発教育全国研究集会)の開催

ワークショップ(6 コマ)、シンポジウム(テーマ:世界をケアするために~グローバル化の隘路を超えて~)、自主ラウンドテーブル(14 コマ)、実践事例報告(4 コマ)、分科会(6 コマ)を通して、開発教育・ESD・国際理解教育等に関わる実践者の経験交流・意見交換を中心に据えながら、議論を深めた。シンポジウムでは、経済成長とともに拡大した消費主義

社会や地域社会を持続可能な社会にするための「脱成長の8つの再生プログラム」について共有した後、「地域社会をどのように再評価するか」を議論した。

また、多様な参加者が参加しやすい場づくりのために、要約筆記、パソコンによるノートテイク、託児などの対応を行った。

<概要>

日程:2018年8月4日(土)~5日(日)

会場:聖心グローバルプラザ

参加者数:307名(関係者を含む)

主催:(特活)開発教育協会、聖心女子大学グローバル共生研究所

後援:文部科学省、外務省、環境省、消費者庁、東京都教育委員会、渋谷区教育委員会、独立行政法人国際協力機構、(特活)関西 NGO 協議会、(特活)国際協力 NGO センター、(一財)自治体国際化協会、(一社)SDGs 市民社会ネットワーク、ESD 活動支援センター、(公財)ユネスコ・アジア文化センター

Ⅲ. 情報・出版事業

新規教材等の作成・増刷、ウェブサイトや SNS を活用した情報発信を行った。

1) 新規教材図書の企画編集と制作発行

開発教育に関連する次のような新規の教材や図書の、企画編集や制作発行や増刷をおこなった。またそのために、引き続きその財源や出版社等との実施体制の確保に努めた。

①『開発教育基本アクティビティ集2ー難民』

「難民」をテーマに一人ひとりが問題に向き合い、公正で持続可能な社会の在り方を考えることをねらいとして発行した。準備が簡単で、様々なテーマにつなげて展開したり、応用したりしやすい4つのアクティビティを収録している。

発行:開発教育協会

発行日:2019年3月21日

判型・頁数:A4判・36頁

発行部数:1,500部

価格:1,200円(+税)



②その他図書教材の編集企画・編集協力

既存の教材で在庫が少ない以下の教材の改訂・

増刷発行を行った。

<改訂増刷発行>

『パーム油のはなし』

発行:開発教育協会

発行日:2018年11月

発行部数:1,000部

・データの改訂、版型の変更、スライド資料の追加などを行った。

<単純増刷発行>

『ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら 第5版』

発行:開発教育協会

増刷日:2018年4月1日

発行部数:1,500部

2) 出版物販売

当会発行の教材・図書資料をインターネット等を通じて販売した他、イベントでの直販、関係団体の発行図書の受託販売、教材カタログやAmazonなどの販路で販売を行い自己財源の強化を図った。今年度は大口の注文も増え、昨年よりも約950冊多く書籍を販売した。

<書籍売り上げベスト5>

第1位『基本解説 そうだったのか、SDGs』 849冊

第2位『ワークショップ版世界がもし100人の村だったら 第5版』 827冊

第3位『新・貿易ゲーム』 551冊

第4位『スマホから考える世界・わたし・SDGs』 523冊

第5位『開発教育 基本アクティビティ集1』 441冊

3) 広報資料作成

①ウェブサイトの運営

開発教育ポータルサイトとしてウェブサイトでの情報発信を行った。よく読まれているのは「参加型学習」「教材」「イベント」関連のページである。また、イベント参加申込や会費・寄付などの支払いはウェブ経由(paypal決済)のものが多くを占めてきている。

・ 289,400 セッション 前年: 189,864

・ 373,248 ページビュー 前年: 416,739

・ 平均サイト滞在時間 01:29 分 前年: 01:42 分

・ 新規セッション率 88.3% 前年: 88.8%

・ PC ユーザー51%(モバイル 49%)

②ウェブサイトのリニューアル

<http://www.dear.or.jp/>

モバイル末端利用者も増加していること、また、更新作業の効率化のために、7月よりウェブサイトのリニューアル作業に取り組んだ。

NPO 法人 Co.to.hana (コトハナ) にウェブの設計やデザインを依頼し、2019年4～5月にはリニューアルを終了する予定。

③スタッフ・ブログの運営

<http://dearstaff.blogspot.com/>

講師派遣レポートや事務局の日常業務等を不定期に掲載している。よく読まれているのは、講師派遣レポートである。

- ・ 投稿記事:27本 前年: 40本
- ・ 10,853セッション 前年: 189,864
- ・ 16,930ページビュー 前年: 5,514
- ・ 1.56平均ページビュー 前年:1.54
- ・ 新規セッション率90% 前年:88%



④Facebookページの運営

<https://www.facebook.com/ngoDEAR/>

2013年8月に全研広報用に開始し、9月末に公式Facebookページとしてリニューアルした。主催イベントや教材の紹介のほか、開発教育や国際協力に関連するニュースも配信している。社会課題を扱った記事や、教材・リソースに関する記事への反響が大きい。3月末の「いいね！」数:3,175(前年比+234)。



⑤メールマガジンの発行

毎月1回のメールマガジンの発行を開始し、主催事業や資料の情報を発信した。3月末現在3,321名(前年比+367名)が登録している。

⑥ツイッターの運営

<https://twitter.com/ngoDEAR>

2011年11月16日にツイッターを導入(アカウント名は@ngoDEAR)。イベント情報や教材関連情報を中心にツイートしている。3月のフォロワー数:944(前年比+74)。



⑦noteの運営

<https://note.mu/ngodear>

ニュースレター・チームの発案により2018年10月からページを開設し、ニュースレターや機関誌の記事を不定期に公開している。ページビューは1,643件、スキは23件、記事購入者は5件(@100円×5)。

来年度のウェブリニューアルと併せて、活用方法を

検討していく。

⑧資料請求者への対応

ウェブサイト上から無料での資料請求を実施した。全国から請求があり、20件(前年38件)。うち2名の新入会があった。

⑨PR TIMESの利用

プレスリリース一括配信サービスPR TIMESの無償提供プロジェクトに参加登録した。不定期で教材発行やイベント情報を掲載している。複数のウェブメディア等に配信されるため、露出効果が高い。

IV. 研修・講座事業

講師派遣事業に関しては、消費者教育関係者からの要請が増え、また、アクティブラーニング、SDGsについて、ファシリテーター養成など、多様なニーズに対応した。

1) 講師派遣事業

政府機関・自治体・教育委員会・学校・大学・自治体国際化協会・NGOなどからの講師派遣依頼に対して、DEARの役職員等を講師として計67件138回派遣した。述べ参加者は約4,500名。

依頼先は大学や高校、自治体、NGOなどが多く、内容は各種ワークショップの他、アクティブラーニング研修やSDGsをテーマにしたもの、ファシリテーター養成などの内容が多かった。詳細は資料編を参照。

2) 教材体験フェスタ 2019

年度当初計画していた標記教材フェスタは、ほかのセミナーなどで教材を広める目的が達成されたため、本年度の開催は見送った。

3) 各種講座

①「開発教育入門講座」

開発教育の基礎的理解を目的とした入門講座を毎月1回、計11回(8月はd-labで実施)、延べ219名の参加者を得て開催した。

10回の講座のうち4回は「特別編」として、「コーヒークップの向こう側」(5月)、「スマホから考える世界・わたし・SDGs」(7月/横浜YMCAと共催)、「貿易ゲーム」(10月)、「もっと話そう! エネルギーと原発のこと」(3月)を実施した。

②デニ・ムクウェゲ医師ノーベル平和賞受賞記念イベント『女を修理する男』上映会&トークイベント」

コンゴの性暴力と紛争を考える会(ASVCC)と共催で、ドキュメンタリー映画『女を修理する男』の上映会とトークイベントを開催した。

<概要>

日 時:2018年11月27日(火)

会 場:聖心グローバルプラザ・ブリットホール

参加者:250名



V.政策提言事業

持続可能な開発目標(SDGs)の中の目標4のターゲット7(SDG4.7)は、ESDやグローバルシティズンシップ教育について述べられていることから、SDG4.7の国内実施のための政策提言を他の市民団体やネットワークと連携・協力しながら実施していくことをめざした。

国際協力政策や教育行政に働きかけるとともに、SDGs市民社会ネットワークに協力し、政府のSDGsアクションプランへの提案や、市民側の提案書の作成などを行った。

また、2019年6月に大阪で開催されるG20に先駆けて開催されるC20の準備対面会合に参加し、提言書の作成などに協力した。

そのほか、2019年2月に開催した「人権×教育×SDGsフォーラム」において、SDG4.7を推進するための政策づくりの分科会を開催した(詳細はp.7を参照)。

1)行政に対する政策提言

①国際協力政策・援助政策に対する政策提言

SDGs市民社会ネットワークの教育ワーキンググループの国内担当になることで、特に国内の教育問

題に関するSDGs政策への提言を行うことができた。

また、2019年6月に大阪で開催されるG20に先駆けて開催されるC20の教育ワーキンググループに参加し、提言書の作成などに協力した。C20対面会合などに参加するとともに、「ESD・GCEDがすべての教育において主流化されること」を提言書に盛り込んだ。

②教育行政・教育政策に関する調査・連携

グローバルアクションプログラム(GAP)の後継プログラムの検討が始まり、円卓会議を通して、DEARからの提案を行うとともに、直接ユネスコ本部へも意見を送付した。

「持続可能な開発のための教育円卓会議」が1回開催され、上條代表理事の代理として湯本副代表理事が出席した。GAPの後継プログラムへの提案をした。

<持続可能な開発のための教育円卓会議>

日時:2018年9月10日14:00~16:00

場所:三田共用会議所

2)キャンペーンへの協力

①教育協力NGOネットワーク(JNNE)主催「世界一大きな授業2018」への協力

基礎教育を受けられない子どもたちや非識字の人々が世界中に多くいる現状に目を向け教育の大切さを世界中で同じ時期に考える、グローバルなキャンペーン。2016年度よりSDG4(教育目標)達成を目標に掲げている。

<概要>

日程:2018年4月14日~6月30日

協力内容:教員の手引の作成、助言、広報。名古屋・東京・沖縄での実践者のためのプレ・ワークショップ開催への協力。

参加者数:583校・グループの51,188人

VI.その他の事業

1)受託事業

①外務省「NGO相談員プログラム」

外務省より標記プログラムを受託し、関東圏を中心に全国から開発教育や国際協力に関する幅広い相談を821件受けた。出張サービスは関東圏を中心に8件行った。また、SNSを通じて相談員制度に関する情報発信も行い、約15,961件のリーチ数であった。

②JICA NGO等提案型研修

JICAより標記プログラムを受託し、NGOや開発教育を推進する市民団体の組織強化、ネットワーク強化のための事業を実施した。

具体的には、東北、新潟におけるセミナーの開催と、2019年2月24日、25日には「SDGs×人権×教育フォーラム」を開催した。

<東北、新潟でのセミナー概要>

- ・ 2018年6月16日 開発教育セミナー（秋田）
- ・ 2018年11月10日 教材づくりのためのワークショップ（新潟）
- ・ 2019年11月24日～25日 開発教育入門ワークショップ（山形）
- ・ 2018年12月1日 教材づくりセミナー（新潟）

『SDGs×人権×教育フォーラム～持続可能な社会のための学びをゆるやかにつなぐ』（研修会）

SDGsを人権と社会的公正の視点から考えることを目的として、全体会やワークショップ、分科会を行った。

<概要>

日 時:2019年2月23日(土)13:00～18:00

2月24日(日)10:00～16:30

会 場:JICA東京

参加者数(関係者含む):141名(2日間延べ)

プログラム:

2月23日(土)

- 1) ワークショップ体験(4コマ)
- 2) オリエンテーション 上條直美(DEAR代表理事)
全体会①「人権の視点からSDGsを考える」課題提起者:藤本伸樹氏(ヒューライツ大阪)、榎井縁氏(大阪大学)
全体会②「ふだんどおりを超えて」課題提起者: Jose Roberto "Robbie" Guevara(メルボルン工科大学/元ASPBAE会長)

3) 交流会

2月24日(日)

1) 分科会

- ①「SDGsの実践共有～学校全体で取り組むために」
- ②「参加・共生・公正に基づくSDGsの実践を考える」
- ③「SDG4.7の実践を広め・深める方策とネットワークづくり」

2)全体会

③聖心グローバルプラザ内「BE*hive」

聖心女子大学グローバルプラザ内に設置された展示・ワークショップスペースである「BE*hive(ビー・ハ

イブ)」の運営業務を受託し、展示企画の進行管理や、ワークショップの企画・運営等を行った。

<概要>

聖心グローバルプラザ「BE*hive」

受託期間:2018年4月1日～2019年3月31日

主管:聖心グローバル共生研究所

<業務内容>

A.展示企画

- ・企画の構想協力・教育的な視点の付加
- ・企画全体へのプロジェクトマネジメント
- ・企画立案から実行までの「型」づくり

B.ワークショップの企画

- ・展示を使ったワークショップの企画
- ・ワークシート・プレゼン資料の作成
- ・ワークショップ進行案・ファシリテーションマニュアルの作成・実施後のふりかえり・ワークショップの改善

C.ワークショップの実施

- ・ワークショップ実施回数:58回(内:聖心女子大学学生向け35回)
- ・参加合計数:約1,000名(内聖心女子大学基礎課程演習参加者約300名)

2)外部団体との共催・協力事業

①2018年度開発教育・国際教育セミナー実践編「SDGs(持続可能な開発目標)達成をめざす国際協力のために」

<主管:DEAR大阪>

(公財)大阪国際交流センター、(独)国際協力機構関西国際センターが共催する、開発教育に関する基礎的理解を目的とした連続セミナーの企画・開催に協力した。

<開催実績>

日程:2018年10月21日(日)10～16時

プログラム:ワークショップ「私たちの村を発展させよう!」

会場:大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)

共催:(公財)大阪国際交流センター、(公財)大阪府国際交流財団、(独)国際協力機構関西国際センター

協力:DEAR大阪

後援:大阪市教育委員会、大阪府教育委員会、(特活)関西NGO協議会

講師:木下理仁氏(かながわ開発教育センター)

参加者数:42名「学校で、地域で広げるSDGs(持続可能な開発目標)」

②日本YMCA同盟「地球市民育成プロジェクト」

日本YMCA同盟が実施する「地球市民育成プロ

ジェクト」の内容や概要について助言し、カリキュラムの作成、運営にアドバイザーとして協力した。

また、アジアのユースと共に1週間活動する夏期研修についてもその企画・運営に協力した。

＜概要＞

日時:2018年8月28日(月)～9月3日(日)

会場:日本 YMCA 同盟国際青少年センター東山荘
(静岡県御殿場市)

内容:グローバル 이슈の理解、問題の構造理解、
多文化共生・人権などをテーマにしたフィールドワーク、
アクションプランづくり、グループワーク等

参加者:日本の若者 30名、海外の参加者:15名

③米国大使館「Girls Unlimited Program」

米国大使館より助成を受け女子中高生を対象としたエンパワメントおよびリーダーシップを身につけることを目的とした標記プログラムの企画及び運営を実施した。

＜概要＞

日時:2018年11月1日、11月8日、12月18日、1月22日、2月20日(全5回)

助成:米国大使館

会場:アメリカンセンターJAPAN、聖心グローバルプラザ

参加者:女子中高生35名、米国留学経験者／人物交流プログラム参加経験者30名



④プランテーション・ウォッチ教材作成への協力

NGO のネットワーク団体「プランテーション・ウォッチ」の作成するアブラヤシ・プランテーション開発をテーマにした教材についての内容や進め方、編集などに関して協力した。

2017年度～19年度までの3か年のプロジェクトで、教材完成は2019年度を予定している。

⑤監獄人権センター教材作成への協力

NPO 法人監獄人権センターおよびレディング大学(英国)の共同プロジェクト「CrimeInfo」の作成する刑罰と死刑をテーマにした教材についての内容や進め方、編集などに関して協力した。また、4月には教材に対する意見をもらうために、「教材お試しセミナー」を開催した。



＜概要＞

『知らないからこそ話し合おう！裁判員制度・死刑制度』

編集・発行: NPO 法人監獄人権センター／CrimeInfo

協力:認定NPO法人開発教育協会

助成:株式会社ラッシュジャパン「LUSHチャリティバンク助成」／欧州委員会(EU)

発行日:2018年7月10日

⑥セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン教材作成への協力

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンによるSDGsをテーマにした教材作成に協力した。

＜概要＞

『先生・ファシリテーターのための持続可能な開発目標-SDGs-アクティビティ集』

制作・発行:公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

協力:認定NPO法人開発教育協会

発行日:2018年3月



3. 組織運営に関する報告

1)会報「DEAR ニュース」の編集発行

開発教育の関連情報をはじめ、DEARや各地の「担い手」などの活動状況を紹介することを目的とした会報を5回(4・6・8・10・2月)、各号1,000部を発行した。

また、本年度より新たに、記事の一部をウェブメディアの「note」に公開し、会員以外の方にも読めるようにした(1記事100円の有料配信)。



＜発行実績＞

- ・ 第186号(発行:4月1日) 特集「権力が生む差別と排斥」
- ・ 第187号(発行:6月1日) 特集「コスタリカの政治教育・平和教育」
- ・ 第188号(発行:8月1日) 特集「プロサバンナ事業は農民の『脆弱性』をどう変えたか？」
- ・ 第189号(発行:10月1日) 特集「世界をケアするために～グローバリゼーションの隘路を超えて～d-lab2018シンポジウム採録」
- ・ 第190号(発行:2月1日) 特集「多文化社会専門家機構(TaSSK)の取り組み」

2) サポーターの募集

継続的に DEAR をサポートしてくれる人を増やし、組織強化につなげるために、2014 年 12 月よりサポーター制度(年 4,000 円以上の定額寄付制度)を開始し、募集をすすめている。今年度は、過去会員や研修会参加者、書籍購入者にメールや郵送 DM を送り、サポーターへの依頼を行った。

次期中期計画の重点方針の一つ、組織基盤強化の柱の一つとしてサポーターを増やしていく。

3) 中期計画策定

今後の組織のあり方や、方向性、重点事業などを検討するため、1 年間かけて、2019 年度～2021 年度の中期方針策定を行った。

①第 2 回将来構想作業部会

日時:2018 年 6 月 26 日(火)19:00～21:00

会場:DEAR 資料室

内容:SWOT 分析、強みを中長期的にどう活用できるのか、強みを生かすための組織のあり方について

②理事・評議員合同会議

日時:2018 年 7 月 7 日(土)13:00～17:00

会場:立教大学池袋キャンパス 4 号館 4 階 408 教室

内容:

- ・DEAR の今後に関するヒアリング
- ・DEAR の中期計画についてのディスカッション

③2018 年度事業評価・計画会議 午後

日時:2019 年 2 月 10 日(日)13:00～17:00

会場:富坂キリスト教センター1 号館

内容:中期計画について、各事業について

4) マーケティング基礎調査

NPO 法人サービスグラントのプロボノプロジェクトの助成を受け、「マーケティング基礎調査」を依頼した。具体的には、関係者への聞き取りや会員へのアンケート分析を通して、今後の中期計画への提案をしてもらった。

①キックオフミーティング

日時:2018 年 6 月 11 日(月)19:00～21:00

内容:自己紹介、目的の確認、今後のスケジュール

②内部ヒアリング(第 2 回将来構想作業部会)

2018 年 6 月 26 日(火)19:00～21:00

③内部ヒアリング(理事・評議員合同会議)

2018 年 7 月 7 日(土)13:00～17:00

理事・評議員へのインタビュー

④会員向け WEB アンケート

2018 年 8 月 13 日～27 日

⑤会員向け追加 WEB アンケート

2018 年 10 月 9 日～11 月 6 日

⑥中間報告(第 2 回理事会)

2018 年 10 月

⑦最終報告(事業評価・計画会議)

2019 年 2 月 10 日(日)

5) 表彰

①博報賞

公益財団法人博報児童教育振興会が主催する第 49 回博報賞教育活性化部門を受賞した。

博報賞は、児童教育現場の活性化と支援を目的とし、子どもたち一人ひとりを大切にしている草の根的な貢献と今後の活動に可能性がある団体・個人を顕彰している賞で、2018 年度は 5 つの部門で 20 団体が受賞した。当会の長年にわたる教材開発や人材育成の業績が認められた。

＜概要＞

活動のタイトル:SDGs 推進に向けた参加型の教材作成・人材育成

部門:教育活性化部門

賞金:正賞 賞状、副賞:100 万円

②消費者教育教材資料表彰

公益財団法人消費者教育支援センターが主催する 2018 年度消費者教育教材資料表彰で『スマホから考える世界・わたし・SDGs』が優秀賞を受賞した。

以上

処務の概要

1) 会員に関する事項

2019年3月末現在の会員数は、次の通り。ただし、括弧内は昨年末比の数字。

- 正会員 団体 22団体(±0団体)
 個人 413名(+26名)
- 賛助会員 団体 17団体(-1団体)
 個人 242名(-1名)
 (内学生会員:23名/-1名)

<参考> 団体会員 39団体(-1団体)
 個人会員 655名(+25名)



2) 役員に関する事項

(註: 役員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです)

●代表理事

上條直美(上智大学)

●副代表理事

湯本浩之(宇都宮大学)

●常任理事

阿部秀樹(会社員)

阿部真理子((認定NPO)IVY)

●理事

宇井志緒利(立教大学)

榎井 縁

(大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム)

近藤牧子(大学非常勤講師)

坂口和隆(NPO法人日本NPOセンター)

佐藤友紀(高校教員)

城谷尚子(教育協力NGOネットワーク、公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン)

田中治彦(上智大学)

前嶋 葵((特活)コモンビート)

松倉紗野香(中学校教員)

三輪 敦子((一財)アジア・太平洋人権情報センター)

本山明(大学講師)

中村絵乃((認定NPO)開発教育協会)

●監事

岩崎裕保(帝塚山学院大学)

山崎唯司(団体役員)

●評議員

秋山映美(NPO法人監獄人権センター)

伊藤通子(東京都市大学)

枝木美香((認定NPO)アーユス仏教国際協力ネットワーク)

大江 浩((公社)日本YMCA同盟)

甲斐田万智子((認定NPO)子ども権利センター)

重田康博(宇都宮大学)

鈴木洋一(Wake Up Japan)

高階悠輔(公益財団法人横浜YMCA)

田中 博(参加型評価ファシリテーター)

田中 滋(NPO法人アジア太平洋資料センター)

椿原 恵

(コミュニティコミュニケーション・サポートセンター(Commu))

永田佳之(聖心女子大学)

奈良崎文乃(公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン)

檜府暢子(東京大学附属中等教育学校教員)

西平久美子(会社員)

浜本裕子(YMCA学院高等学校)

林 大介(模擬選挙推進ネットワーク)

諸 英樹(ジオグラフィー)

3) 会員総会に関する事項

2018年度定期会員総会

日時:2018年5月26日(土)

会場:富坂キリスト教センター1号館

<第1部>13:00~15:00

公開ワークショップ

「スマホから考える世界・わたし・SDGs」

<第2部> 15:30~17:00

2018年度定期会員総会議案

<議案審議>

第1号議案

2017年度事業報告および決算報告について

第2号議案 新年度役員について

第3号議案 定款変更について

<報告>

①2018年度事業計画および予算について

<第3部>17:30~20:00

会員交流会

4) 理事会に関する事項

●第1回理事会

日時:2018年5月26日(土)17:00~19:00

会場:富坂キリスト教センター1号館

議 案:

1. 代表・副代表・常任理事の選任
2. 各種委員会の設置および委員選任
3. 中期方針策定について
4. 理事へのお願い・年間の予定について

●第2回理事会

日時:2018年10月20日(土)13:00~16:00

会場:富坂キリスト教センター1号館

議 案:

1. 上半期事業報告・決算報告・下半期事業計画
2. 中期方針策定について・プロボノ報告
3. 組織基盤強化について
4. SDGsフォーラムについて
5. 今後の予定

●第3回理事会

日時:2018年3月16日(土)13:00~16:00

会場:富坂キリスト教センター

議 案:

1. 2018年度の事業報告・決算見込報告
2. 中期方針・計画について

3. 2019年度事業計画・予算

4. 次期代表理事候補者選考について

●第4回理事会

日時:2019年4月27日(土)13:00~16:00

会場:富坂キリスト教センター1号館

議 案:

1. 2018年度の事業報告・決算報告
2. 2019年度事業計画・予算
3. 中期方針・計画策定について
4. SDGs方針について

5) 評議員会に関する事項

●第1回評議員会 & 評議員・理事合同会議

日時:2018年7月7日(土)13:00~17:00

会場:立教大学池袋キャンパス4号館4階408教室

1. プロボノチームによる内部ヒアリング
 - 1) アンケート記入
 - 2) グループヒアリング
2. 合同会議 中期計画について
 - 1) 中期計画今までの報告
 - 2) 新・中期計画に向けたディスカッション
 - 3) 全体共有

6) 2018年度事業評価・2019年度計画会議

2018年度の事業評価と、2019年度の事業計画を共有し、議論した。

日時:2019年2月10日(日)10:00~17:00

会場:富坂キリスト教センター1号館

議題:

- ・2018年度事業評価
- ・2019年度事業計画
- ・中期方針・計画について
- ・グループディスカッション

7) 各種委員会に関する事項

本年度は、次のような各種委員会が理事会内に設置され、当会の運営や事業について協議を行った。

(註:各種委員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです)

①DEAR大阪運営委員

委員長:佐藤友紀(高校教員)

委員:荒川共生((特活)ボルネオ保全トラストジャパン)／岩崎裕保(帝塚山学院大学)／内田弘志(株式会社拓人)／大森容子((公財)滋賀県国際協会)／談儀善

弘(高校教員)／浜本裕子(YMCA学院高等学校)／榛木恵子((社福)聖和共働福祉会)／丸山まり子(地球市民フォーラムなら)／松田道子((公財)神戸YMCA)／三輪敦子((一財)アジア・太平洋人権情報センター)／山中信幸(川崎医療福祉大学)

8)プロジェクト・チームに関する事項

本年度は、以下のような研究会やプロジェクト・チームが設置され、各事業や活動の企画運営にあたった。(註:各種委員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです)

<研究会・プロジェクト・チーム>

①d-lab2018(第36回開発教育全国研究集会)実行委員会

青沼由衣(早稲田大学大学院)、近藤牧子(早稲田大学)、田中治彦(上智大学)、永田佳之(聖心女子大学)、西あい(学びあい事業コーディネーター)、松尾慎(東京女子大学)、本山明(法政大学)、中村絵乃・八木亜紀子・小口瑛子(DEAR)

②機関誌「開発教育」編集委員会

青沼由衣(早稲田大学大学院)、磯野昌子(かながわ開発教育センター)、小野行雄(高校教員)、上條直美(上智大学)、近藤牧子(早稲田大学)、田中治彦(上智大学)、奈良崎文乃(国際NGO)、西あい(「学びあいフォーラム」コーディネーター)、二ノ宮リムさち(東海大学)、野口扶美子(特集担当、ロイヤルメルボルン工科大学大学院博士課程)、藤原孝章(同志社女子大学)、湯本浩之(宇都宮大学)、岩岡由季子・中村絵乃(DEAR)

③「開発教育入門講座」チーム

福島智子(リーダー／桜美林大学)、大平和希子(大学院生)、大野のどか(カフェオーナー)、定光香(会社員)、韓朱仙(コモンビート)、田中浩平(JOCA)、溝口実央(団体職員)、日野智子(会社員)、宮原契子(団体職員)、八木亜紀子・岩岡由季子(DEAR)

④会報「DEARニュース」編集委員会

阿部秀樹(リーダー／会社員)、甲斐和歌子(NGO職員)、片山直美(会社員)、清水千絵(団体職員)、須磨珠樹(会社員)、滝本雅章(事務局ボランティア)、田中祥一(高校教員)、出口雅子(NGO職員)、菊池哲佳(団体職員)、佐藤友梨(会社員)、松下彩(会社員)、中島智(大学教員)、四元菜津美(NGO職員)、八木亜紀子(DEAR)

⑤「学びあい」コーディネーターチーム

阿部眞理子(IVY)、上條直美(上智大学)、佐藤友紀(高校教員)、椿原恵(コミュニティコミュニケーション・サポートセンター)、山西優二(早稲田大学)、西あい(学びあい事業コーディネーター)、伊藤容子・中村絵乃(DEAR)

9)職員に関する事項

事務局長	中村 絵乃(有給・常勤・専従)
事業主任	八木 亜紀子(有給・常勤・専従)
事業担当	伊藤 容子(有給・常勤・専従)
事業担当	岩岡由季子(有給・非常勤・嘱託 4月～／常勤・専従 6月～)
経理・総務担当	牧 啓太(有給・常勤・専従)
書籍担当	若松 陽子(有給・非常勤・嘱託)
BE*hive担当	木村万里子(アルバイト／週3日)

10)インターン・ボランティアに関する事項

今年度に事務局で受け入れを行ったインターン・ボランティアは次の通り。

<事務局インターン>

内林萌樺(大学生、2018年8月)

土屋海帆(大学生、2018年8月)

※明治大学ALL MEIJIインターンシップ・プログラム

<事務局ボランティア>

滝本雅章(社会人、2007年11月～継続)

山本絵理(学生、2017年8月～2019年3月)

信太祐子(社会人、2017年12月～2018年5月)

櫻井梢(社会人、2018年4月～2019年3月)

木村万里子(社会人、2018年5月～継続)

氏井紅葉(学生、2018年8月～継続)

志村真美(学生、2018年9月～継続)

また、d-lab2018(第36回開発教育全国研究集会)には約30名のボランティア参加があった。

11)会員団体に関する事項

DEARが会員として参加した団体は次の通り。

<正会員>

- ・ (特活)国際協力NGOセンター(JANIC)
- ・ 教育協力NGOネットワーク(JNNE)
- ・ (一社)SDGs市民社会ネットワーク
- ・ アジア南太平洋基礎・成人教育協会(ASPBAE)

<賛助会員>

- ・ (特活)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会

資料1： 出版・編集・取材協力など

<書籍>

①『探究ナビ』(2019年2月)

発行:ベネッセコーポレーション

内容:巻頭特集「探究の実践を知る」に事務局長の中村への取材記事が掲載された。

<雑誌>

①『社会科教育』708号(2018年4月)

発行:明治図書

内容:教材『開発教育基本アクティビティ集 1ー世界とのつながり』が紹介された。

<新聞>

①東京新聞・広告(2018年10月3日)

第49回(2018年度)博報賞受賞のお祝い広告が掲載された。

②東京新聞(2018年12月3日)

11月27日(火)に開催した『女を修理する男』上映会＋トークショーの取材記事が掲載された。

③カトリック新聞(2019年1月27日)

11月27日(火)に開催した『女を修理する男』上映会＋トークショーの取材記事が掲載された。

④東京新聞・広告(2019年3月18日)

第49回(2018年度)博報賞受賞のお祝い広告が掲載された。

<ウェブメディア>

PR TIMESを通して以下の記事を配信した。

①2018年12月「Girls Unlimited Program〜ジブンの未来を切り拓くワークショップ(全4回)」スタート!

・ページビュー:1,230件

・転載サイト:51件

②2019年1月「ビー・ハイズ 難民・避難民ワークショップが注目を集め参加件数が70件以上に」

・ページビュー:1,247件

・転載サイト:51件

③2019年2月「SDGs×人権×教育フォーラム」

・ページビュー:1,503件

・転載サイト:52件

④2019年2月新教材発行!『先生・ファシリテーターのための 持続可能な開発目標・SDGsアクティビティ集』

・ページビュー:1,035件

・転載サイト:31件

※転載サイト例:東洋経済オンライン、PRESIDENT Online、朝日新聞デジタル&M、ニコニコニュース、等

以上

資料2:「名義後援・協力」の実績一覧(計14件)

<後援名義>

①ボルネオ保全学生グループ

「中高生によるサステナブル・ラベルシンポジウム〜消費を通して熱帯雨林の減少を食い止めよう!」

(2018年5月6日)

②(公財)日本クリスチャン・アカデミー 関西セミナーハウス活動センター

「2018年度 開発教育セミナー」

(2018年6月〜12月/全6回)

③(公財)滋賀県国際協会

「平成30年度 国際教育教材体験フェア」

(2018年8月22日)

④(特活)ヒューマンライツ・ナウ

「第4回全国中高生『世界子どもの日』映像スピーチコンテスト」

(2018年7月〜10月15日)

⑤(特活)国際子ども権利センター

「子どもを誰一人取り残さない社会をめざして〜インドネシア難民と子どもの権利を考える」

(2018年7月29日)

⑥第6回公害資料館連携フォーラムin東京実行委員会

「みんなSDGsにつながっているよ!公害資料館の“わ”第6回公害資料館連携フォーラムin東京」(2018年12月14日〜16日)

⑦(特活)関西NGO協議会
「ワン・ワールド・フェスティバル for youth～高校生のための国際交流・国際協力EXPO2018」
(2018年12月24日)

⑧(公財)滋賀県国際協会
「平成30年度 国際教育教材ワークショップ スマ
ホから考える世界・わたし・SDGs」
(2019年2月10日)

⑨独立行政法人国際協力機構
「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト
2018」

<協力名義>

⑩(公財)プラン・インターナショナル・ジャパン
「プラン・インターナショナル夏休み読書感想文コ
ンクール 2018」
(2018年6月21日～11月18日)

⑪独立行政法人国際協力機構関西センター
「2018年度開発教育・国際教育セミナー」
(2018年8月2日)

⑫独立行政法人国際協力機構関西センター
「2018年度開発教育・国際教育セミナー(実践
編)」
(2018年10月21日)

⑬宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏セン
ター
「第10回グローバルセミナー」
(2018年12月21日)

⑭(特活)関西NGO協議会
「トークセッションセミナー 届けよう市民の声を、関
西から世界へ～G20と市民社会の役割」
(2019年2月3日)

以上

資料3:他団体への「賛同・協賛」の実績一覧(計3件)

<賛同>

①NGO非戦ネット

目的:国際協力・交流活動に取り組むNGOや市民
の立場から、武力で平和は作れないという信念の
もと、NGOだからこそ発信できる声を市民に届け、
市民が広く結集するネットワークをめざす。

期間:2015年7月2日～

②「世界食料デー」月間2018 みんなで食べ る幸せを

飢餓や食料問題に取り組む国際機関や
NGO/NPO、企業や教育機関などが、世界食料

デーに向けて実施する企画を相互に協力・広報を
行うことで、1人でも多くの人に飢餓や食料問題に
ついて知ってもらう。また解決に向けて何ができる
のか考え、行動する機会を提供する。

期間:2018年10月1日～31日

<協賛>

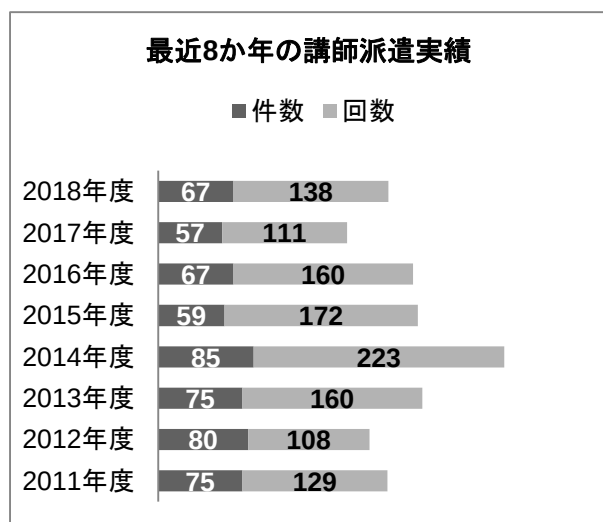
③国際環境 NGO FoE Japan

シンポジウム「どう伝える?原発事故のこと」

(2019年3月9日)

以上

資料 4:「講師派遣」の実績一覧（計 67 件 138 回）



1 「RKU WEEK2018『新入生オリエンテーション』」 (2018.4/4／計 11 回)

主催: 流通経済大学(龍ヶ崎キャンパス、松戸キャンパス)
 内容: 貿易ゲーム、コンビニゲーム
 対象: 大学 1 年生
 派遣者: 中村絵乃(事務局長)、八木亜紀子(事業主任)、伊藤容子(事務局長)、小口瑛子(事務局長)、近藤牧子(評議員)

2 「高1 ESD タイム」(2018.4/21／計 2 回)

主催: 横浜女学院中学校・高等学校
 内容: パーム油
 対象: 高校 1 年生
 派遣者: 伊藤容子(事務局長)、近藤牧子(評議員)

3 「グローバル・イシューズ」(2018.4/25／計 2 回)

主催: 桜丘中学・高等学校
 内容: 100 人村、地球の食卓
 対象: 高校生
 派遣者: 八木亜紀子(事業主任)、岩岡由季子(事務局長)

4 「国際教育ゼミナール」(2018.4/25／計 1 回)

主催: 上智大学 短期大学部
 内容: スマホ
 対象: 大学生
 派遣者: 小口瑛子(事務局長)、岩岡由季子(事務局長)

5 「自分のミライが変わる SDGs」(2018.5/11／計 3 回)

主催: 公益社団法人 立川青年会議所
 内容: 100 人村
 対象: 中学生
 派遣者: 中村絵乃(事務局長)、伊藤容子(事務局長)、岩岡由季子(事務局長)

6 「新入生オリエンテーション」(2018.5/23／計 1 回)

主催: 聖心女子大学
 内容: その他
 対象: 大学生
 派遣者: 中村絵乃(事務局長)

7 「公開授業研究会」(2018.6/1／計 1 回)

主催: 上尾市立東中学校
 内容: その他
 対象: 教員・教育関係者
 派遣者: 中村絵乃(事務局長)

8 「フィールドワーク国際セミナーワークショップ」(2018.6/9／計 4 回)

主催: 鎌倉女学院中学校・高等学校
 内容: パーム油、コーヒーカップの向こう側
 対象: 高校生
 派遣者: 伊藤容子(事務局長)、小口瑛子(事務局長)、岩岡由季子(事務局長)

9 「スマホから考える世界・わたし・SDGs」(2018.6/13／計 1 回)

主催: 埼玉県ユニセフ協会
 内容: スマホ
 対象: 団体・ボランティア・インターン
 派遣者: 八木亜紀子(事業主任)

10 「自治体外国人施策の実務―第一線で対応する方のために」(2018.6/13／計 1 回)

主催: (財) 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所
 内容: パーキング
 対象: 自治体・公務員
 派遣者: 中村絵乃(事務局長)

11 「新入職員研修」(2018.6/20／計 1 回)

主催: 神奈川県民生医療機関連合会
 内容: 貧困について
 対象: 企業・会社員
 派遣者: 中村絵乃(事務局長)、青沼由衣(ボランティア)

12 「グローバル英語コースグローバルワークショップ」 (2018.6/23／計 1 回)

主催: (財) 大阪国際交流センター
 内容: 100 人村
 対象: 高校生

派遣者:佐藤友紀(理事)

13 「埼玉県教職員等消費者教育セミナー」(2018.7/27／計 1 回)

主催:埼玉県消費生活支援センター

内容:パーム油

対象:教員・教育関係者

派遣者:中村絵乃(事務局長)

14 「FD研修会」(2018.7/3／計 1 回)

主催:和洋女子大学

内容:その他

対象:教員・教育関係者

派遣者:中村絵乃(事務局長)

15 「第 2 回じんけんカタリバ」(2018.7/4／計 1 回)

主催:一般財団法人 アジア・太平洋人権情報センター

内容:スマホ

対象:一般・市民

派遣者:佐藤友紀(理事)

16 「大学授業「パーム油と私たちの暮らし」」(2018.7/10／計 1 回)

主催:文京学院大学

内容:パーム油

対象:大学生

派遣者:岩岡由季子(事務局長)

17 「山梨大学共通教育科目 1 年次「消費生活論」」(2018.7/13／計 1 回)

主催:山梨大学

内容:パーム油

対象:大学生

派遣者:伊藤容子(事務局長)

18 「KWN グローバルサミット 2018」(2018.7/25／計 2 回)

主催:電通ライブ(株)

内容:100 人村

対象:小学生

派遣者:中村絵乃(事務局長)、伊藤容子(事務局長)、近藤牧子(評議員)

19 「高校家庭科授業力アップ研修会」(2018.7/27／計 1 回)

主催:山梨県総合教育センター

内容:地球の食卓

対象:教員・教育関係者

派遣者:八木亜紀子(事業主任)

20 「アクティブラーニング研修会」(2018.7/31／計 1 回)

主催:国士舘高等学校 昼間定時制課程

内容:地球の食卓、豊かさと開発

対象:教員・教育関係者

派遣者:中村絵乃(事務局長)

21 「平成 30 年度消費者教育教員研修」(2018.8/2／計 1 回)

主催:神奈川県県民局

内容:パーム油

対象:教員・教育関係者

派遣者:伊藤容子(事務局長)

22 「国際理解教育研修会」(2018.8/2／計 1 回)

主催:公益財団法人 茨城県国際交流協会

内容:地球の食卓

対象:教員・教育関係者

派遣者:八木亜紀子(事業主任)

23 「Action!9 月 1 日問題」(2018.8/22／計 2 回)

主催:パレット

内容:協力ゲーム他

対象:小学生および保護者

派遣者:中村絵乃(事務局長) 星久美子(ボランティア) 田中浩平(ボランティア)

24 「コミュニケーションスキルを高めよう」(2018.8/24／計 1 回)

主催:聖心女子大学

内容:対立から学ぶ、その他

対象:教員・教育関係者

派遣者:中村絵乃(事務局長)

25 「ラーニングリーダー育成」(2018.8/24／計 2 回)

主催:武豊町立富貴中学校

内容:対立から学ぶ、その他

対象:中学生

派遣者:八木亜紀子(事業主任)

26 「2018 年度第 3 回教員研修 メディアリテラシーをはぐくむ～NIE 実践校として」(2018.8/27／計 1 回)

主催:相模女子大学

内容:メディアリテラシー(GE)

対象:教員・教育関係者

派遣者:八木亜紀子(事業主任)

27 「e イブニング」(2018.8/31／計 1 回)

主催:佐藤 友梨

内容:スマホ
対象:企業・会社員
派遣者:八木亜紀子(事業主任)

28 「消費者の力で社会課題を解決するアクティブラーニングの手法」(2018.9/6/計1回)

主催:日本消費者教育学会
内容:パーム油
対象:大学生
派遣者:八木亜紀子(事業主任)

29 「千葉県教育研究会 東総支部 国際理解教育教職員研修」(2018.9/10/計1回)

主催:銚子市立海上小学校
内容:スマホ
対象:教員・教育関係者
派遣者:岩岡由季子(事務局員)

30 「日本 YMCA スタッフ研修ステップⅡ」(2018.9/26/計1回)

主催:(財)日本YMCA同盟
内容:SDGs
対象:NGO・団体職員
派遣者:中村絵乃(事務局長)

31 「多文化共生社会のための異文化コミュニケーション」(2018.9/2/計1回)

主催:茂原市国際交流協会
内容:バーンガ
対象:一般・市民
派遣者:八木亜紀子(事業主任)

32 「新入職員研修」(2018.9/14/計1回)

主催:神奈川県民生医療機関連合会
内容:貧困について
対象:医療従事者
派遣者:中村絵乃(事務局長)、西あい(学びあいコーディネーター)

33 「オリンピック・パラリンピック教育」(2018.9/18/計4回)

主催:目黒区立東根小学校
内容:100 人村
対象:中学生
派遣者:中村絵乃(事務局長)、星久美子(ボランティア)

34 「ふくしまグローバルセミナー2018」(2018.9/23/計3回)

主催:公益財団法人 福島県国際交流協会
内容:スマホ、その他

対象:一般・市民
派遣者:八木亜紀子

35 「国際科2学年」(2018.10/9/計1回)

主催:川崎市立橋高等学校
内容:スマホ
対象:高校生
派遣者:岩岡由季子(事務局員)

36 「東京都オリパラ事業」(2018.10/17/計1回)

主催:足立区立栗原小学校
内容:100 人村
対象:小学生
派遣者:岩岡由季子(事務局員)

37 「新入職員研修」(2018.10/17/計1回)

主催:神奈川県民生医療機関連合会
内容:貧困について
対象:医療従事者
派遣者:中村絵乃(事務局長) 西あい(学びあいコーディネーター)

38 「スマホから考える世界・わたし・SDGs」(2018.10/20/計1回)

主催:NPO 法人 さっぽろ自由学校「遊」
内容:スマホ
対象:一般・市民
派遣者:八木亜紀子(事業主任)

39 「地域に根ざす消費者教育セミナー」(2018.10/20/計1回)

主催:(公社)全国消費生活相談員協会北海道支部
内容:スマホ
対象:一般・市民
派遣者:八木亜紀子(事業主任)

40 「職責者研修」(2018.10/24/計1回)

主催:神奈川県民生医療機関連合会
内容:対立から学ぶ
対象:医療従事者
派遣者:中村絵乃(事務局長) 吉田直子(ボランティア)

41 「PTA行事による研修講座」(2018.10/27/計1回)

主催:千葉明德中学校
内容:100 人村
対象:中学生
派遣者:岩岡由季子(事務局員)

42 「第 45 回「東南アジア青年の船」事業」(2018.10/30／計 1 回)

主催:一般財団法人 青少年国際交流推進センター
内容:100 人村
対象:その他
派遣者:伊藤容子(事務局員)

43 「総合学習「公平な地球社会への一歩を踏み出そう」」(2018.10/31／計 1 回)

主催:筑波大学附属中学校
内容:100 人村
対象:中学生
派遣者:八木亜紀子(事業主任)

44 「平和・人権学習「平和をどう伝えていくか」」(2018.11/7／計 1 回)

主催:川崎市宮前市民館
内容:スマホ
対象:一般・市民
派遣者:中村絵乃(事務局長) 滝本雅章(ボランティア)

45 「高校一年生学年行事「ワークショップの日」」(2018.11/9／計 1 回)

主催:青山学院高等部
内容:貿易ゲーム
対象:高校生
派遣者:八木亜紀子(事業主任)

46 「2018 年度国際理解・開発教育指導者養成講座 中・上級編」(2018.11/10／計 2 回)

主催:(特活)沖縄 NGO センター
内容:豊かさの開発、対立から学ぶ
対象:教員・教育関係者
派遣者:中村絵乃(事務局長)

47 「UNESCO 憲章に則る教育・科学・文化を通しての世界平和の実現を目指す諸活動」(2018.11/16／計 1 回)

主催:特定非営利活動法人鎌倉ユネスコ協会
内容:パーム油
対象:一般・市民
派遣者:八木亜紀子(事業主任)

48 「地域に根ざす消費者教育セミナー」(2018.11/18／計 1 回)

主催:(公社)全国消費生活相談員協会北海道支部
内容:スマホ
対象:一般・市民
派遣者:岩岡由季子(事務局員)

49 「工学部・工学研究科 FD 研修会」(2018.11/19／計 1 回)

主催:学校法人智香寺学園 埼玉工業大学
内容:アクティブラーニング
対象:教員・教育関係者
派遣者:中村絵乃(事務局長)

50 「新入職員研修」(2018.11/21／計 1 回)

主催:神奈川県民生医療機関連合会
内容:貧困について
対象:医療従事者
派遣者:伊藤容子(事務局員)、西あい(学びあいコーディネーター)

51 「公開研究発表会」(2018.11/21／計 2 回)

主催:上尾市立東中学校
内容:ファシリテーターについて、グローバルシティズンシップ
対象:教員・教育関係者
派遣者:中村絵乃(事務局長)

52 「職責者研修」(2018.11/28／計 1 回)

主催:神奈川県民生医療機関連合会
内容:対立から学ぶ、その他
対象:医療従事者
派遣者:中村絵乃(事務局長)、西あい(学びあいコーディネーター)

53 「オリパラ教育」(2018.12/7／計 1 回)

主催:品川区立後地小学校
内容:100 人村
対象:小学生
派遣者:八木亜紀子(事業主任)

54 「地区社協ちょこっとボランティア合同研修」(2018.12/8／計 1 回)

主催:横浜市都筑区佐江戸加賀原地区社会福祉協議会
内容:100 人村
対象:一般・市民
派遣者:伊藤容子(事務局員)

55 「中3グローバルラボ」(2018.12/10／計 2 回)

主催:甲南高等学校・中学校
内容:貿易ゲーム
対象:中学 3 年生
派遣者:佐藤友紀(理事)

56 「新入職員研修」(2018.12/14／計 1 回)

主催:神奈川県民生医療機関連合会

内容:貧困について

対象:医療従事者

派遣者:伊藤容子(事務局員)、西あい(学びあいコーディネーター)

57 「第3学年 総合的な学習の時間」(2018.12/21/計 4 回)

主催:千代田区立九段中等教育学校

内容:コーヒークップの向こう側

対象:中学 3 年生

派遣者:中村絵乃(事務局長)、八木亜紀子(事業主任)、岩岡由季子(事務局員)、近藤牧子(評議員)

58 「第3学年 総合的な学習の時間」(2019.1/11/計 4 回)

主催:千代田区立九段中等教育学校

内容:振り返り

対象:中学 3 年生

派遣者:中村絵乃(事務局長)、八木亜紀子(事業主任)、岩岡由季子(事務局員)、近藤牧子(評議員)

59 「中2グローバルラボ」(2019.1/12/計 2 回)

主催:甲南高等学校・中学校

内容:100 人村

対象:中学 2 年生

派遣者:佐藤友紀(理事)

60 「東京都オリパラ事業」(2019.1/25/計 2 回)

主催:大田区立中萩中小学校

内容:100 人村

対象:小学生

派遣者:八木亜紀子(事業主任)、岩岡由季子(事務局員)

61 「社員研修」(2019.1/28/計 1 回)

主催:日清食品ホールディングス株式会社

内容:パーム油

対象:社員

派遣者:八木亜紀子(事業主任)、岩岡由季子(事務局員)

62 「国際教育ワークショップ」(2019.2/10/計 1 回)

主催:公益財団法人 滋賀県国際協会

内容:スマホ

対象:教員・教育関係者

派遣者:佐藤友紀(理事)

63 「SA の研修事業」(2019.3/28/計 1 回)

主催:長浜バイオ大学

内容:バーンガ、その他

対象:大学生

派遣者:中村絵乃(事務局長)、岩岡由季子(事務局員)

64 「ビジョン・ミッションづくりセミナー」(2019.3/2/計 1 回)

主催:北海道 NGO ネットワーク協議会

内容:その他

対象:NGO・団体職員

派遣者:西あい(学びあいコーディネーター)

65 「東京都オリパラ事業」(2019.3/8/計 3 回)

主催:新宿区立西新宿中学校

内容:100 人村

対象:中学生

派遣者:八木亜紀子(事業主任)、岩岡由季子(事務局員)

66 「えんワークショップ」(2019.5/25/計 5 回)

主催:フリースペースえん

内容:世界一周旅行、音のない世界、プラスチック、コットン、チョコレート

対象:えんにくる子どもたち、大人たち

派遣者:中村絵乃(事務局長)、岩岡由季子(事務局員) 星久美子(ボランティア) 久保井奈美(ボランティア)

67 「グローバル共生基礎」(2019.3/29/計 30 回)

主催:聖心女子大学

内容:その他

対象:大学生

派遣者:中村絵乃(事務局長)

以上



講師派遣の様子はスタッフ・ブログ「DEAR な日々」でレポートしています。 <http://dearstaff.blogspot.jp/>